

令和7年度「安全で安心なまちづくり県民のつどい」の開催



主催者挨拶



安全で安心なまちづくり活動知事奨励賞
4団体・企業が受賞

県では、安全で安心なまちづくりに関し、重点的に啓発を行い県民等の関心及び理解を深めるため10月11日から20日を「安全で安心なまちづくり旬間」と定め、毎年「県民のつどい」を開催しています。今年度は、10月14日にたかしんホールで開催し、約300の方が参加し表彰や講演、アトラクションを行いました。



園児による「いか・のお・す・し
(子どもの被害防止のための約束事)」発表



宮崎県警察穏やかなまちづくり広報大使小田加奈子さんと宮崎県警察音楽隊・カラーガード隊、みやざき犬のコラボパフォーマンス

講演

演題「デジタル技術を悪用した特殊詐欺に巻き込まれないために
私たちができること」

講師 合同会社TAKUMINASUN代表

・株式会社NTT DXパートナー技術顧問 鈴木 巧氏

東京都の特殊詐欺対策体験事業の講師も務められ、ICTを活用した防犯活動にご尽力されている鈴木様に、ご講演いただきました。内容の一部を紹介します。

【最新の手口】

○デジタル技術の進化が詐欺の手口を巧妙化させています。

私たちの生活を便利にするAIやクラウドサービスが、残念ながら特殊詐欺に悪用されています。声や顔、電話番号まで偽造される時代に、どう身を守ればいいのか？

知っておくべき最新の手口と不審な電話への対応をご紹介します。

LINEによる公的機関への「なりすまし」が巧妙化！

被害者の携帯電話に警察署の電話番号から電話があり、それに出ると警察官を名乗る人物に、LINEのビデオ通話に誘導された。ビデオ通話で相手から警察手帳や逮捕状を示された。「あなたの口座を調査するため、預金を送金して」と言われ、指示された口座に振り込んでしまった。



声が偽造される！「AI音声」の脅威

犯人がAIでとある企業の社長の声を精巧に偽装し、社員へ電話で送金を指示。声がそっくりなため、社員は指示通り送金をしてしまった。



不審な電話への対応

- 知らない番号には出ず、留守番電話を活用しましょう。不審な番号はインターネットで検索し、詐欺や迷惑電話に関する情報を確認しましょう。
- 電話に出たあとも不審な電話だと感じたら、一度切り、自分で正しい連絡先(公式ホームページや電話帳など)を調べてかけ直しましょう。
- AIで声は偽造可能。声だけで判断せず、内容を疑いましょう。
- 警察官が電話で捜査対象となっていることを伝えたり、個人のスマートフォンに突然ビデオ電話をすることはありません。

※「詐欺かも？」と思ったら、警察相談専用電話#9110に相談しましょう。

年末年始における防犯対策

年末年始は、帰省や長期旅行などで家を不在にしたり、年越しやお年玉の準備等で普段より多くのお金を自宅で保管される方も多いと思います。泥棒は、このような機会を狙っています。家族みんなで防犯対策をしっかりとって被害にあわないようにしましょう。

空き巣に注意！

- 短時間の外出でも鍵かけを徹底しましょう。また、合鍵を玄関周辺などに置かないようにしましょう。
- 防犯カメラ、センサーライト等の設置、窓ガラスには補助鍵をつけたり、防犯機器を活用しましょう。
- 庭に足場になるようなものはないか、確認して片付けましょう。
- 長期間留守にする場合は、新聞配達の一時中断を依頼しましょう。

車上ねらいに注意！

- 車内に貴重品やカバン等を残さないようにしましょう。
- 長期間の放置駐車はやめましょう。
- 確実なドアロックと窓の閉め忘れに注意しましょう。



自転車盗に注意！

- 自宅敷地内であっても確実に施錠しましょう。
- 外出先の駐輪場に長期間放置しないようにしましょう。
- 短時間でも自転車から離れる際は、鍵を必ずかけ、さらに二重ロックを徹底しましょう。



※家族や大切な人を犯罪から守るために、防犯対策について話し合しましょう。

万引き多発中！

万引きの認知件数は、
令和7年10月末の時点で、**567**件(暫定値)。

- 万引きは「窃盗罪」です。
10年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処せられる程の重大な犯罪行為です。
- 「万引きは犯罪です」、「防犯カメラ作動中」、「警察に通報します」といった警告表示を、店舗の入り口や目立つ場所に掲示しましょう。
- 不審な人物・行動を見かけたら、店員に知らせましょう。
- 万引きを家族や周りの人に、「しない・させない・許さない」気運を社会全体で作らしましょう。